

先生の推し本 第20回 2026年9月14日～12月末頃

ヨルダンから世界へ ——世界を見る目をひらいてくれた本たち

宮原千絵先生(グローバル協力センター)

仕事を通じて通算6年程を過ごした中東の国・ヨルダン。ヨルダンは日本ではあまり知られていませんが、中東の平和を考える上で、とても重要な国です。そんなヨルダンをご紹介しつつ、ヨルダンを理解する上で重要なイスラム教やイスラム文化について読みやすいと思った本を紹介しています。長年、中東・北アフリカを中心に開発協力を携わる中で出会い、世界の見方を広げてくれた本たちです。

書名 / 著者等。 (出版社, 刊行年月, シリーズ名)	配架場所	請求記号
イスラーム文化：その根柢にあるもの / 井筒俊彦著. 岩波書店, 1991.6. (岩波文庫；青(33)-185-1).	図書館文庫・新書	167 /I99
中東・イスラム圏の学習をする上で欠かせない一冊。イスラム教に付随する様々な考え方を理解する手がかりを与えてくれます。		
イスラームの日常世界 / 片倉もとこ著. 岩波書店, 1991.1. (岩波新書；新赤版 154).	図書館文庫・新書	167 /Ka82
イスラーム社会について、暮らしの色々な面から切り取り、分かりやすく解説してくれます。ムスリムの人々の多種多様な習慣も身近に感じることができ、イスラム文化に関心を持った人の入門書としても面白いです。		
現代ヨルダン・レポート：アラブの女性たちが語る慣習・貧困・難民 / 佐藤都喜子著. 名古屋外国語大学出版会, 2021. (名古屋外大ワークス = NUFS works, 6)	図書館一般図書	302.2 /Sa85
プロジェクトリーダーとして長くヨルダンに滞在した著者が、女性たちの生き方や考え方を、丁寧に綴った著作。臨場感のある内容で、ヨルダンで暮らす女性たちの生き方や考え方を知ることができる一冊。		
現代アラブ君主制の支配ネットワークと資源分配：非産油国ヨルダンの模索 / 渡邊駿著. ナカニシヤ出版, 2022.	図書館一般図書	312.2 /W46
ヨルダンは日本ではあまり知られていない国ですが、ヨルダンを本格的に扱った数少ない日本語文献の一つ。歴史や社会構造もわかりやすく学べます。		
現代中東の難民とその生存基盤：難民ホスト国ヨルダンの都市・イスラーム・NGO / 佐藤麻理絵著. ナカニシヤ出版, 2018.	図書館一般図書	369.3 /Sa85
ヨルダンが数多く受け入れている難民がどのように生活をし、どのように支援されているのか、また、NGOの役割などを非常に分かりやすくまとめた1冊。		
開発協力のつくられ方：自立と依存の生態史 / 佐藤仁著. 東京大学出版会, 2021. - (シリーズ「日本の開発協力史を問いなおす」, 7)	図書館一般図書	333 /Sa87
ODAの歴史、特徴と課題が分かりやすく整理されている。過去に問題とされていたODA案件の現状を調査し、今後のODAの在り方を提言する、バランスの取れたODA解説本。		
紛争と難民：緒方貞子の回想 / 緒方貞子著. 集英社, 2006.3.	図書館一般図書	369.3 /O23
UNHCR(国連高等難民弁務官事務所)のトップとして世界の難民問題をどのように解決していったのか、臨場感を持った筆致で読者を引き込んでいく。難民支援の最前線で何が起きていたのかを、当事者の視点から知ることができる一冊。		
貧困の終焉：2025年までに世界を変える / ジェフリー・サックス著；鈴木主税, 野中邦子訳. 早川書房, 2006.4.	図書館一般図書	333 /Sa12
「私たちが生きているあいだに世界の貧困をなくすことについて書かれた本」(著者)。マクロ経済学者であった教授が開発経済学に取り組み、MDGsに邁進していった。具体的な事例を基に、世界のあるべき姿について本音で語っていて非常に読みやすい一冊。		
貧乏人の経済学：もういちど貧困問題を根っこから考える / アビジット・V・バナジー, エスター・デュフロ [著]；山形浩生訳. みすず書房, 2012.4.	図書館一般図書	331.8 /B18
世界の貧困問題はなぜ解決されないのか？ノーベル経済学賞を受賞した著者が、「調査から出てきた数字」から人々の「行動」を見つめ、より効果的な貧困削減の在り方を示唆します。開発協力を志す人にぜひ読んでほしい一冊。		
国際協力キャリア問一答：元JICA職員・現役国連職員の心構え / 敦賀一平著. [敦賀一平], 2024.6	グローバル協力センター	329/Ts84
JICA(国際協力機構)を経て国際労働機関(ILO)で働く著者が、国際機関職員の考え方、仕事の進め方など、非常に親しみやすく解説し、キャリア形成の方向性を分かりやすくアドバイスする本。国際協力の仕事に関心のある学生におすすめ。		
死海のほとり / 遠藤周作著. 新潮社, 2010.9. (新潮文庫；え-1-18)	図書館一般図書	913.6 /E59
遠藤周作のキリスト教に関連する著作は全てお勧めしますが、本作は、死海を訪れる旅を通して信仰と人間を見つめ直す作品。中東の風景と遠藤文学の魅力を同時に味わえますので、この一冊を選びました。		